

2019年 9月13日(金)～ 9月29日(日)

博物館実習生制作展示 「継承のはじ 革命のすえ」

継承のはじ

この展示は、博物館実習生一員一人ひとりが制作したものです。博物館の展示は、大勢の人が協力して制作されています。博物館の展示は、大勢の人が協力して制作されています。

革命のすえ

この展示は、博物館実習生一員一人ひとりが制作したものです。博物館の展示は、大勢の人が協力して制作されています。

展示期間
2019年
9月13日(金)～9月29日(日)

継承のはじ

土師器とは

土師器とは、粘土で焼いた土器を指します。縄文時代から弥生時代にかけて、土師器は生活必需品として広く使われてきました。土師器は、土をこねて成形し、丸焼きで焼くことで作られます。土師器は、器の形や大きさによって、さまざまな用途に使われていました。

土師器の作り方

土師器の作り方は、粘土をこねて成形し、丸焼きで焼くことです。土師器は、器の形や大きさによって、さまざまな用途に使われていました。

須恵器の作り方

須恵器は、赤く焼いた土器を指します。須恵器は、赤く焼いた土器を指します。須恵器は、赤く焼いた土器を指します。

須恵器とは

須恵器とは、赤く焼いた土器を指します。須恵器は、赤く焼いた土器を指します。須恵器は、赤く焼いた土器を指します。

土師器と須恵器の違い

土師器	須恵器
赤く焼いた土器	赤く焼いた土器
赤く焼いた土器	赤く焼いた土器
赤く焼いた土器	赤く焼いた土器



考古学によく出る「やきもの」

	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代
土器	縄文土器	弥生土器	土師器			かわらけ			
陶器			須恵器		灰釉陶器	施釉陶器(瀬戸・美濃・瀬美・常滑等)			
炆器			緑釉陶器		炆器(備前焼・朱泥焼等)				
磁器					磁器(輸入)			磁器(生産)	

焼き物の大分類	原料	焼成方式	焼成温度(℃)	色相	透明性	電水性	発磁	例
土器	陶土	野焼き	700~1000	有色	不透明	有	X	縄文土器 弥生土器 土師器 かわらけ
		窯焼き	1000~1200					須恵器
陶器	陶土	窯焼き	1100~1200	白色	不透明	有	O	灰釉陶器 緑釉陶器 瀬戸焼 美濃焼
炆器	陶土	窯焼き	1100~1300	有色	不透明	無	△	備前焼 万古焼 朱泥焼
磁器	陶石	窯焼き	1200~1400	白色	半透明	無	O	有田焼 伊万里焼 九谷焼

参考：日本陶磁大辞典(角川書店 2002)・原色陶磁大辞典(流交社 1972)

Q&A コーナー

Q. 土器は輸入で使われるの？

○(C)C(9)S(4)
D(1)S(1)C(9)S(4)
S(4)

○(C)C(9)S(4)P(1)
D(1)S(1)C(9)S(4)
S(4)

○(C)C(9)S(4)P(1)
S(4)

→ 輸入

Q. 日本で土器は輸入されているの？

○(C)C(9)S(4)
D(1)S(1)C(9)S(4)
S(4)

○(C)C(9)S(4)P(1)
D(1)S(1)C(9)S(4)
S(4)

○(C)C(9)S(4)P(1)
S(4)

→ 輸入

A. どちらも使われています。

日本列島における土器の歴史には古くは人の暮らしが
あります。日本列島には縄文時代の土器が数多く見つか
り、その後も古墳時代や奈良時代、平安時代を通じて
土器が広く使われてきました。

○(C)C(9)S(4)P(1)
D(1)S(1)C(9)S(4)
S(4)

A. 土器は海運によって使われています。

日本列島に輸入された土器は、その用途に応じて使
われてきました。海運の発達によって、海外の土器が
日本に輸入されるようになりました。その結果、日本
の土器の歴史は、海外の土器との交流によって豊か
な歴史を刻んでいます。

